

2018年11月期 決算説明会

2017年12月1日～2018年11月30日



sala
SALA GROUP

2019年 1月 23日

株式会社サーラコーポレーション

2018年11月期の業績について



2018年11月期(2017年12月1日～2018年11月30日)の連結業績

主要事業は概ね順調に推移し

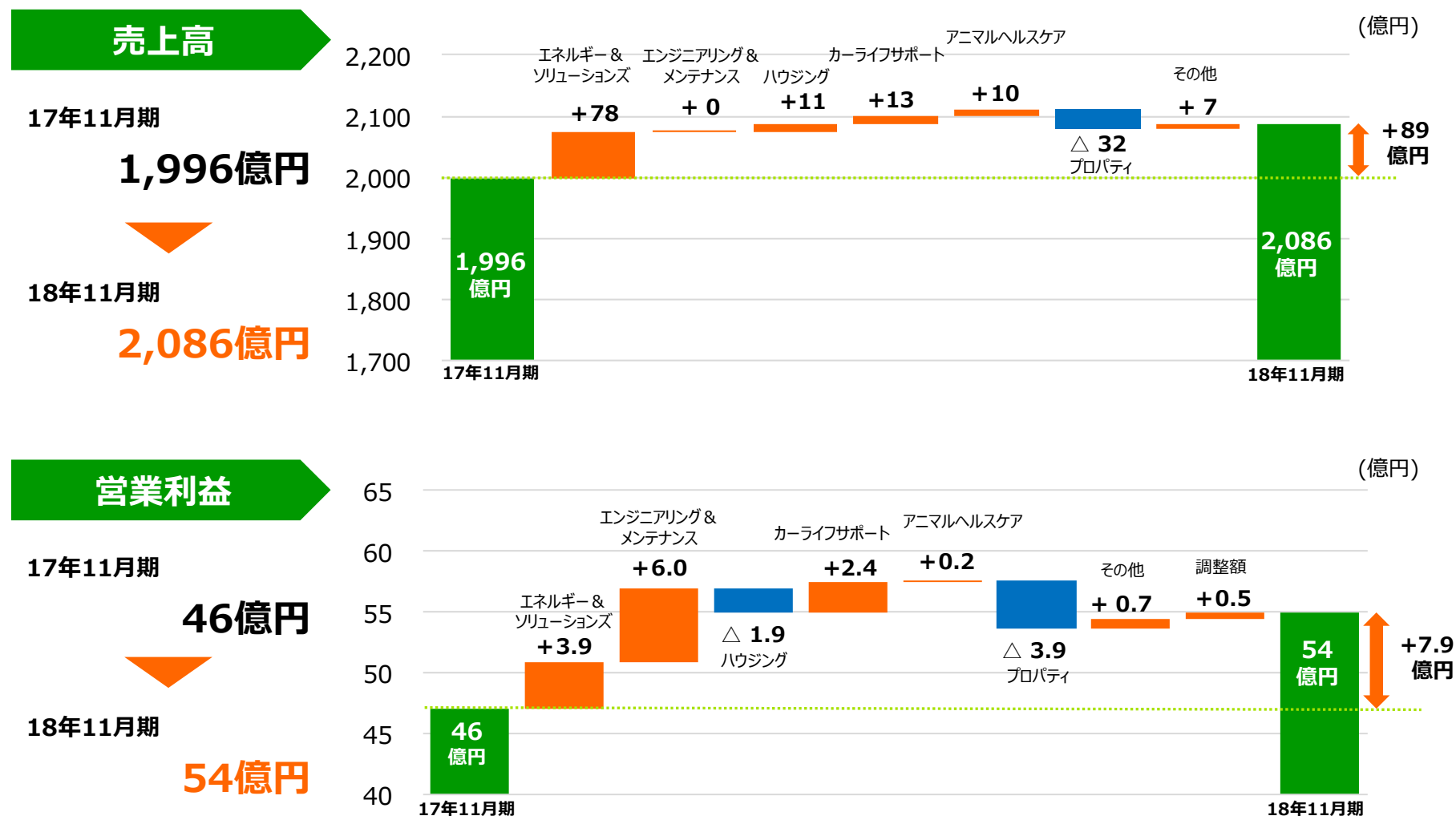
売上高・営業利益・経常利益は過去最高を更新

- 売上高はエネルギー & ソリューションズにおける都市ガスの販売量増加や、サーラの電気のお客さま数増加などにより増加。
- 利益面は売上高増加に加え、エンジニアリング & メンテナンスにおいて利益率の高い完成工事が増加したことにより営業利益は増加し、デリバティブ評価損の縮小などにより経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増加。

(億円)

項目	17年11月期 (16年12月～17年11月)	18年11月期 (17年12月～18年11月)	増減率(%)
売上高	1,996	2,086	4.5%
営業利益	46	54	17.0%
経常利益	44	56	25.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	27	36	31.8%
1株当たり当期純利益 (円)	51.66	59.60	

2018年11月期 業績増減要因



2018年11月期 連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書



資産・負債・純資産・自己資本比率

(億円)

項目	17年11月30日	18年11月30日	増減	増減要因
資産	1,706	1,788	+82	受取手形及び売掛金、有形固定資産の増加
負債	1,175	1,235	+60	借入金の増加
純資産	531	553	+22	利益剰余金の増加
自己資本比率(%)	30.5	30.3		

キャッシュ・フロー

(億円)

項目	17年11月期	18年11月期
営業活動によるキャッシュ・フロー ※	124	55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 79	△ 77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 45	34

※「営業活動によるキャッシュ・フロー」 69億円の主な減少要因
(たな卸資産の増加による減少54億円、法人税等の支払額増加による減少14億円)

設備投資額・減価償却費

(億円)

項目	17年11月期	18年11月期
設備投資額	91	100
減価償却費	69	66

2019年11月期事業計画について



2019年11月期(2018年12月1日～2019年11月30日)の計画について

私のまちにはSALAがある

～暮らしとエネルギーのSALAへ～

お客さまに対して商品・サービス、お客さま窓口の名称をSALAに統一してサービス体制から事業展開、組織運営に至るまで徹底してお客さま起点に見直し、「暮らしとエネルギーのSALA」として地域に広く浸透することを目指す。

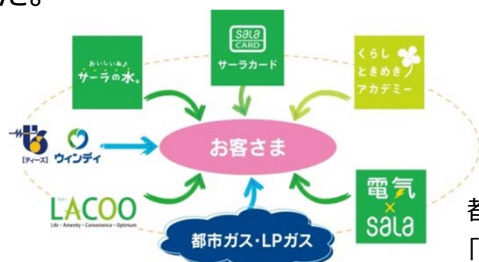
既存事業の強化は、これまでの達成状況に応じて新たな目標を設定し、これまでの枠組みではできなかった方法も加えて継続して取り組み、今後も成長していける基盤を確固たるものにする。

	第1次 2011年～2013年	第2次 2014年～2016年	第3次 2017年～2019年	第4次～ 2020年～
長期目標	次なる時代の成長を見据えた基盤づくり			「私のまちにSALA、 暮らしとともにSALA」 の実現
方針・ テーマ	グループの新たな 挑戦	魅力あるグループへ	私のまちにはSALAがある ～暮らしとエネルギーのSALAへ～	
中心課題	グループ一体化に よる社内基盤の 整備	整備した基盤を 活かした 顧客対応力の強化	新たな成長を可能にする基盤づくり (エネルギー事業の再構築、 SALAの浸透)	
最終年度 売上高	1,372億円	1,489億円	2,200億円（計画）	
最終年度 経常利益	20億円	30億円	65億円（計画）	

中期経営計画2年目（2018年）までの振返り

重点課題1 お客さま・地域との新たな関係づくり

- 都市ガス小売全面自由化（2017年4月）にあわせ、新サービスメニュー「マイオプションG」の適用を開始し、電気など生活サービス併用によるお得なガス料金プランを提供。（マイオプション契約数約6万件/都市ガス・LPガス）
- 地域に密着した暮らしの総合サポート発信基地として、2017年4月に「サーラプラザ佐鳴台」をオープン。
- 2017年12月に中部ガス(株)とガステックサービス(株)の本社機能統合などエネルギー事業における組織再編を実施。
- 2016年4月販売開始の「サーラの電気」は、2018年7月にお客さま数が3万件を突破。（ガスのお客さま数約45万件）
- 2017年12月設立の(株)サーラライフスタイルイノベーションにおいて、お客さまの住まいに関するグループ内の情報を一元化し、家の資産価値を維持・向上させる仕組みづくりに取り組む。
- 中部ガス(株)は中部電力(株)と共同出資により、2018年10月に法人向けにガス・電力の販売を行う(株)CSEナジーサービスを設立した。



都市ガスの新サービスメニュー
「マイオプションG」開始



サーラプラザ佐鳴台オープン
(サーラプラザ12店舗目)

重点課題2 魅力あるまち・暮らしづくり

- 2017年3月に愛知県豊橋市の市街地に分譲マンション「ココラハウス駅前大通三丁目」を竣工し、販売を完了した。
- 豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業は、住宅事業計画、施設基本構想を策定し、2018年12月に東棟の建設工事に着工した。

重点課題3 社員が誇れる会社づくり

- 2018年6月に56歳到達時の現行処遇に関する人事制度の改定を実施するとともに新人事制度の骨子を検討した。
- 働き方改革促進に向けたトップセミナーを開催し、社員の働き方に対する具体的な課題を抽出し、実行計画を策定した。

中期経営計画3年目（2019年）の重点取組み

重点課題1 お客さま・地域との新たな関係づくり

- お客さまを起点とするサービスの提供を実現するため、中部ガス(株)（都市ガス事業）とガステックサービス(株)（LPガス事業）という従来のガス種別、会社別の垣根を越えたエネルギー事業の再構築に取り組む。サーラの総合窓口の設置に向けてお客さま接点を一本化し、お客さまへ提供する商品・サービスを向上させるとともに経営効率化を図る。
- お客さまとの接点機会として重要な役割を担うサーラプラザは、次の候補地である「サーラプラザ豊川」（愛知県豊川市）について構想の具体化を進める。
- 浜松エリアにおけるSALAブランドの浸透やお客さま関係強化にむけて、浜北スポーツ施設におけるネーミングライツ（施設命名権）を取得し、2019年4月より運用を開始する。
- RPA（Robotic Process Automation/現在、グループ会社4社において33ロボット稼働）の商品化に向けた試験運用の検証と、AI、IoTについてグループ内企業における試行に着手する。
- サーラグループ創立110周年を機に、地域との協働共助に資する新たな取組みを検討する。



「サーラプラザ豊川」完成イメージパース



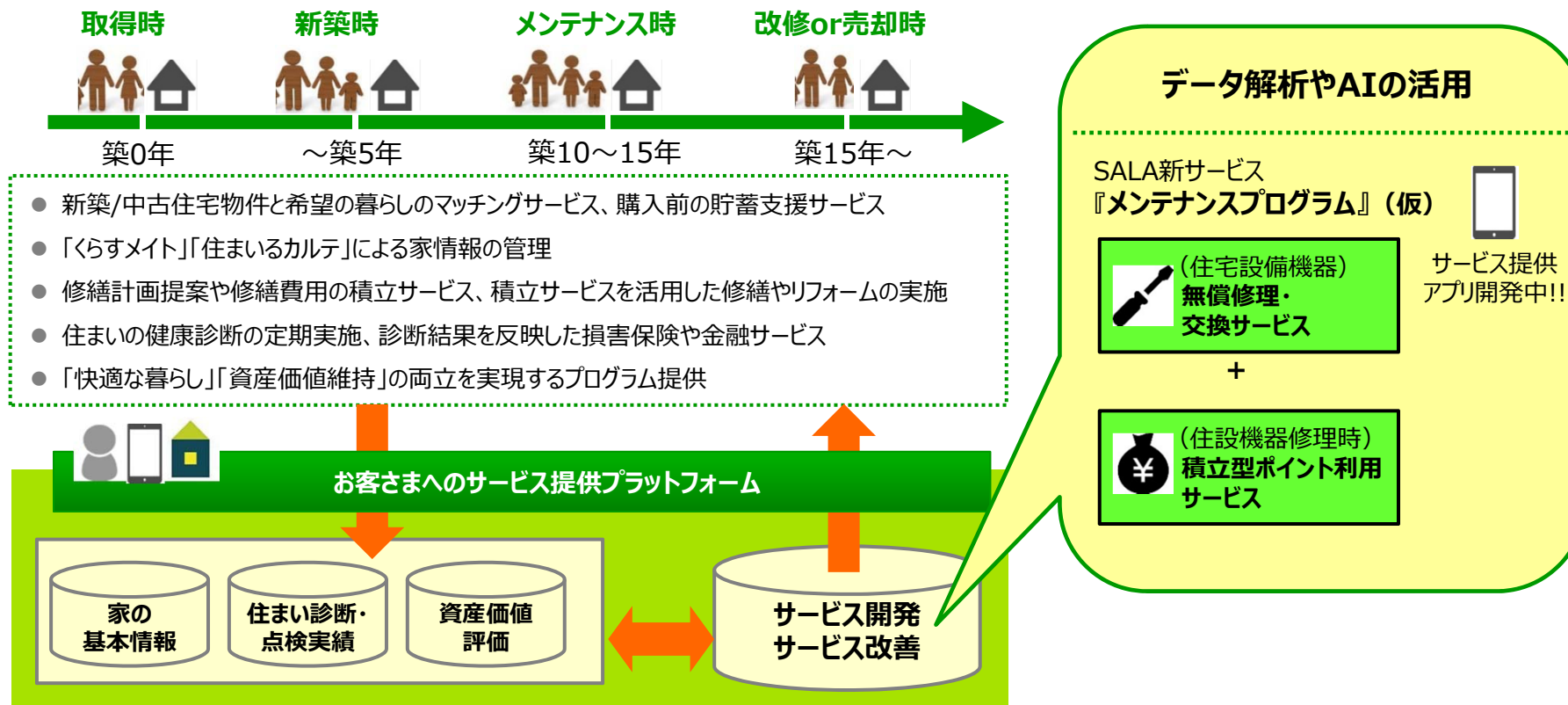
浜松市役所とのパートナー契約締結式

中期経営計画3年目（2019年）の重点取組み

重点課題1 お客さま・地域との新たな関係づくり

- サラライズスタイルイノベーションは、住まいメンテナンスを核とする新サービスの開発や、データ解析をベースとしたマーケティング手法を確立する。

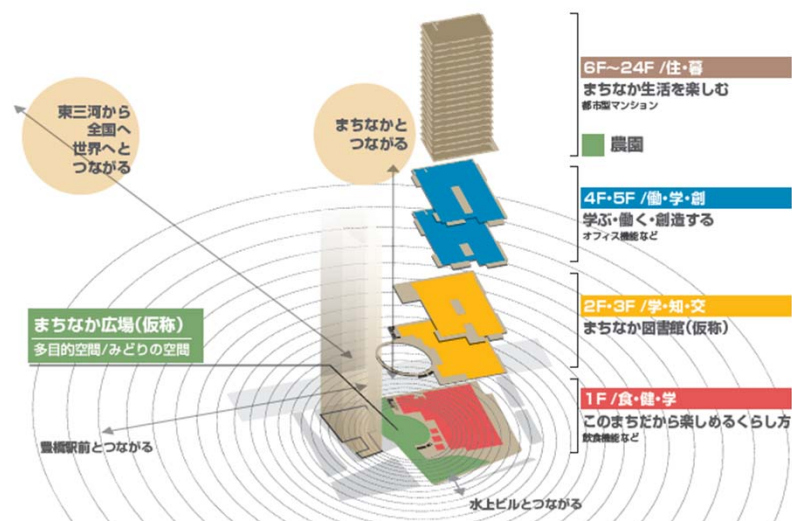
住宅販売事業、リフォーム事業、不動産事業を横断的につなぎ、お客さまの「家」のあらゆる情報をもとに、「家」の資産価値を維持・向上させるサービスを提供する



中期経営計画3年目（2019年）の重点取組み

重点課題2 魅力あるまち・暮らしづくり

- 豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業は、中心市街地の活性化拠点となる基本構想について、シェアリングビジネスを含めて具体化を進めるとともに、2019年4月にマンションの販売開始を予定する。
- 県営東浦住宅団地再生事業（愛知県知多郡東浦町）への参画が決定し、サーラ住宅は戸建て用地62区画の供給を行うほか、子育て支援施設の整備、世代間交流の促進、地域の防災・防犯機能強化等の役割を担う。



豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業



県営東浦住宅団地再生イメージ図

重点課題3 社員が誇れる会社づくり

- 働き方改革（労働時間の短縮、業務効率化、生産性向上）実現に向けた改善 P D C A をグループ全体で展開する。
- グループ全体最適と各社自律とのバランス及び個人の能力・成果とをマッチングさせた人事制度の構築を行う。

エネルギー事業における増収増益などにより 売上高・営業利益・経常利益は過去最高を見込む

- 主力のエネルギー & ソリューションズにおいて、法人向けの都市ガス販売量の増加や、木質バイオマス発電の稼動に伴う効果を見込む
- 売上高は5.5%増の2,200億円、営業利益は1.9%増の56億円を計画

収支計画

(億円)

項目	18年11月期 実績	19年11月期 計画	増減額	19年11月期 中期計画
売上高	2,086	2,200	+114	2,200
営業利益	54	56	+2	64
経常利益	56	60	+4	65
親会社株主に帰属する当期純利益	36	38	+2	—
1株当たり当期純利益 (円)	59.60	61.49		—

2019年11月期 連結貸借対照表

資産・負債・純資産・自己資本比率

(億円)

項目	18年11月30日	19年11月30日
資産	1,788	1,859
負債	1,235	1,277
純資産	553	582
自己資本比率(%)	30.3	31.3

設備投資額・減価償却額

(億円)

項目	18年11月期実績	19年11月期計画
設備投資額	100	119
減価償却額	66	70

2019年11月期の主な設備投資：ソーラeパワーバイオマス発電所建物及び機械装置 37億円、都市ガス導管 28億円

2019年11月期 連結数値計画（セグメント別）

セグメント別・売上高

（億円）

セグメント	18年11月期 実績	19年11月期 計画	19年11月期 中期計画
エネルギー & ソリューションズ	937	1,028	980
エンジニアリング & メンテナンス	281	276	310
ハウジング	355	367	377
カーライフサポート	150	165	167
アニマルヘルスケア	262	265	251
プロパティ	57	58	73
その他	40	41	42
合計	2,086	2,200	2,200

セグメント別・営業利益

（億円）

セグメント	18年11月期 実績	19年11月期 計画	19年11月期 中期計画
エネルギー & ソリューションズ	25	30	28
エンジニアリング & メンテナンス	16	14	11
ハウジング	6	6	14
カーライフサポート	△ 0	1	5
アニマルヘルスケア	6	5	4
プロパティ	2	2	5
その他	1	1	2
調整額	△ 3	△ 5	△ 7
合計	54	56	64

事業概要

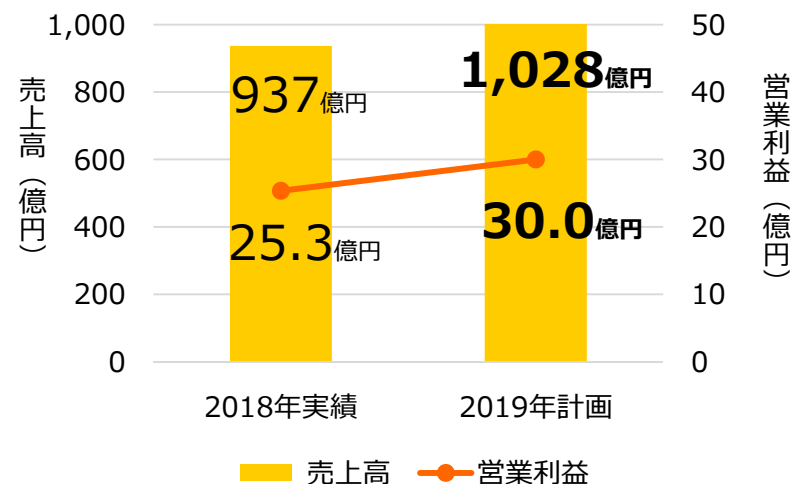
都市ガス、LPガス、石油製品、高圧ガス及び関連機器の販売、
電気供給事業、リフォーム、エネルギー輸送

重点取組

- (株)CSエナジーサービスをはじめ産業用の新規需要開拓を行うことによる都市ガス販売量の増加、木質バイオマス発電所稼動開始（2019年7月予定）による効果等を見込む。
- 中部ガス（都市ガス事業）とガステックサービス（LPガス事業）の垣根を越えたエネルギー事業の再構築を推進し、エリア戦略に基づく積極的な営業展開及び経営の効率化を実現
- 家庭用分野では、ガスと電気のセット販売を軸にリフォームなど生活関連の提案を推進するとともにエネルギーシェアを拡大
- 産業用、業務用分野では、省エネ診断などを切り口にエネルギーを含む包括的なビジネスサービスを提供

数値計画

■ 売上高・営業利益



■ 主要指標

項目	2018年実績	2019年計画
ガスお客さま件数	447 千件	455 千件
サーラの電気お客さま件数	31,000 件	43,500 件
グループリフォーム売上高 ※	69 億円	73 億円

※ハウジングセグメント含む

エンジニアリング&メンテナンス事業

事業概要

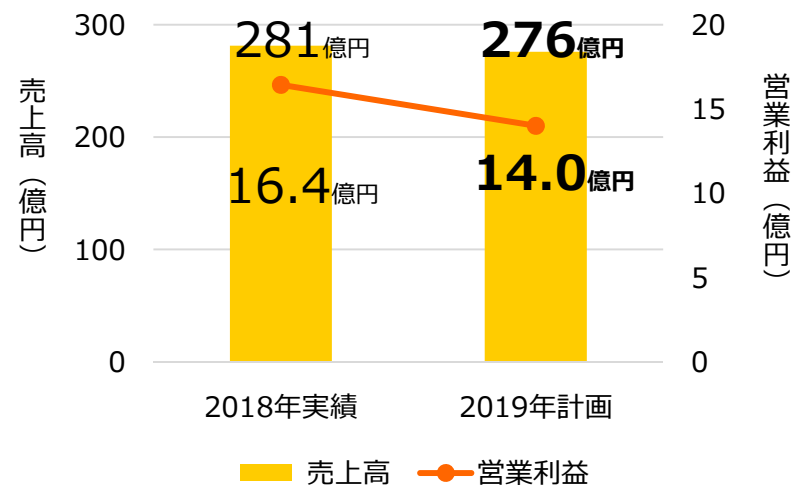
設備事業、土木事業、建築事業、トータルファシリティ事業、情報通信事業、ビル建材事業、メンテナンス事業

重点取組

- 前期（2018年）実績はセグメント内の4社につき決算期変更による14ヵ月の変則決算であったため、その影響はあるものの堅調な民間設備投資を背景に引き続き高い利益水準の維持を見込む。
 - 施工力の向上など企業体質の強化に向けた取組みの継続により、外部環境に左右されない収益基盤づくり
 - エネルギー＆ソリューションズ事業、プロパティ事業との連携を強化し、ソリューション型ビジネスを推進

数値計画

■ 売上高・営業利益



■ 主要指標

項目	2018年実績	2019年計画
設備部門 売上高	57 億円	53 億円
土木部門 売上高	106 億円	112 億円
建築部門 売上高	64 億円	74 億円
メンテナンス部門 売上高	59 億円	51 億円

※内部取引消去前

事業概要

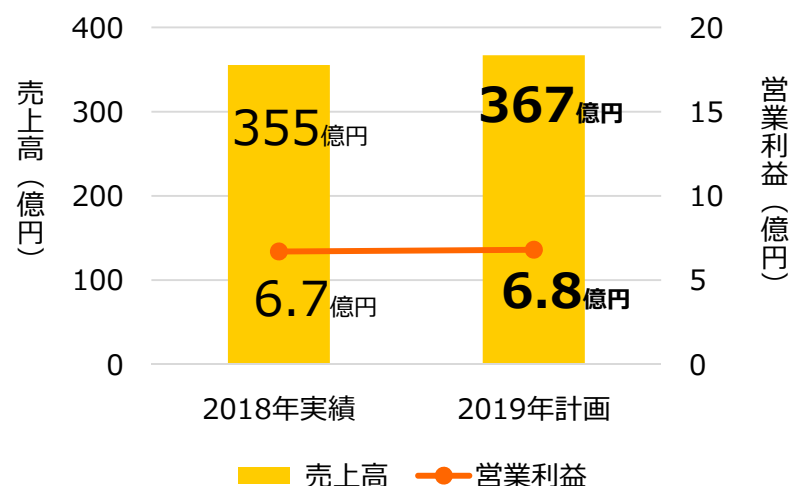
注文住宅の請負、分譲住宅の販売、建物のリフォーム請負、
建築資材・住設機器等の販売

重点取組

- 重点エリアである愛知県西三河エリアにおいて、太陽ハウジング(株)子会社化（売上高21億円/2018年実績）による用地取得体制の強化に加え、新たに開設した西尾展示場を中心に販売体制を整え注文住宅の販売を強化する。
- 住宅販売部門は、外断熱二重通気工法をベースに湿度をコントロールするシステムを搭載したベストエア（Best-Air）など高付加価値商品の販売や、体験型のお泊りハウスの活用、コンセプト商品の開発・販売を強化
- 住宅部資材加工販売部門は、新規のお客さま獲得、注力商材の拡販、施工力を向上

数値計画

■ 売上高・営業利益



■ 主要指標

項目	2018年実績	2019年計画
注文住宅 受注件数	187 件	200 件
土地付注文住宅 受注件数	108 件	130 件
分譲住宅 受注件数	261 件	300 件

事業概要

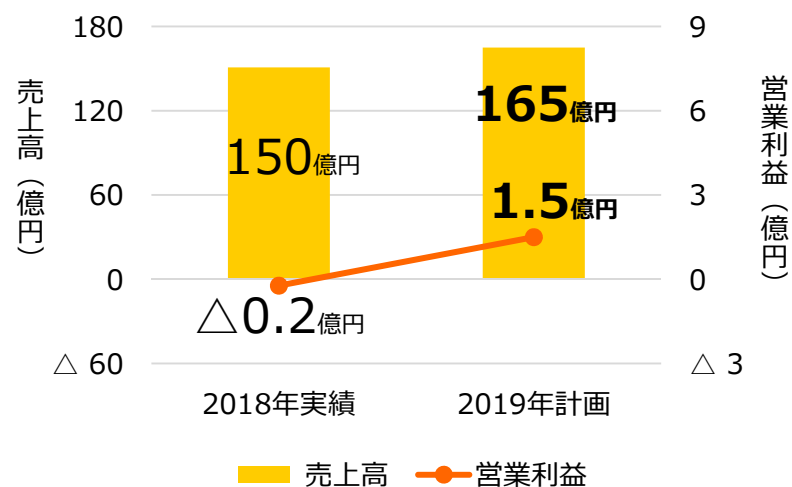
フォルクスワーゲン9店舗・アウディ3店舗（正規ディーラー）、車検・整備

重点取組

- 新車、中古車、サービスの三位一体となった事業運営体制を推進し、新車だけではなく引き続き中古車の販売を強化することにより4期振りの黒字化を見込む。
 - アウディ浜松リニューアルオープン（2019年1月）による効果を見込む。アウディA1は6月にフルモデルチェンジを予定
 - 購入から車検、点検、買い替えといったカーライフサイクルに合わせたサービスプログラム構築によるお客さま数の増加

数値計画

■売上高・営業利益



■主要指標

項目	2018年実績	2019年計画
フォルクスワーゲン 新車販売台数	1,749 台	1,980 台
アウディ 新車販売台数	529 台	630 台
フォルクスワーゲン 中古車販売台数	870 台	1,000 台
アウディ 中古車販売台数	243 台	280 台

事業概要

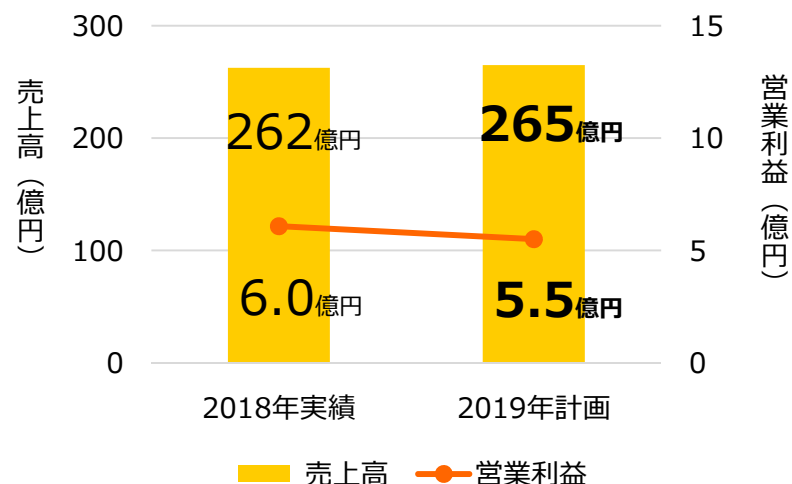
動物用医薬品、畜産用機械設備、小動物医療機器の販売

重点取組

- 動物用医薬品の販売強化に引き続き取り組むとともに、最大の市場である関東エリアの販売体制を整えシェア拡大を図るため、将来を見据えた先行投資を計画に織り込む。
- エリアごとに事業環境に応じた施策の展開及び重点取組み商品の提案強化
- 取引先である畜産農家や動物病院で行うプレゼンテーションに関して、優秀事例を社内に展開することなどによりコンサルティング営業を強化し、お客さまの課題解決に貢献するとともに収益力を向上

数値計画

■ 売上高・営業利益



■ 主要指標

項目	2018年実績	2019年計画
畜産部門 売上高	110 億円	112 億円
ペット関連部門 売上高	110 億円	112 億円
その他部門 売上高	41 億円	39 億円

※内部取引消去前

事業概要

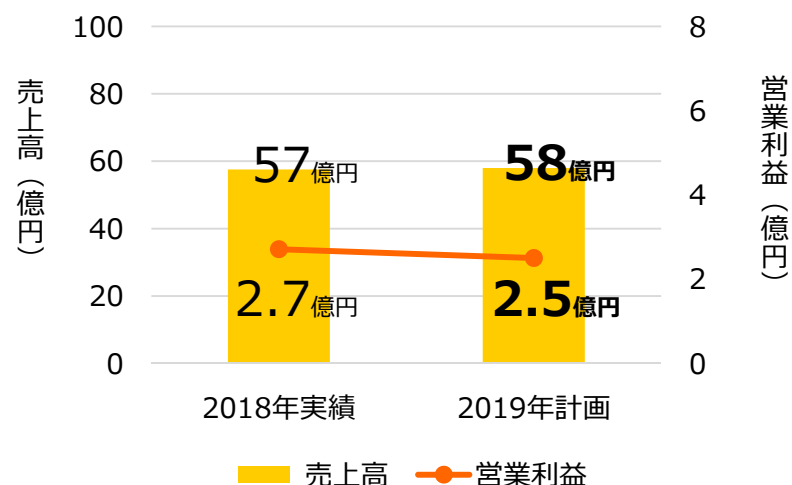
不動産事業、ホテル事業、飲食店事業、スポーツクラブ運営

重点取組

- プロパティビジネスとしての不動産管理事業、情報コンサルビジネスとしての不動産流通事業（仲介・再販）の再構築に取り組む。
 - 賃貸事業、ビル管理事業、マンション管理事業などストックビジネスを強化
 - 豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業の着実な推進
 - ホテルの利用機会を増やす商品・サービスの開発と収支改善に向けた改革プランの実行

数値計画

■ 売上高・営業利益



■ 主要指標

項目	2018年実績	2019年計画
不動産部門 売上高	31 億円	32 億円
ホスピタリティ部門 売上高	22 億円	23 億円

※内部取引消去前

トピックス：法人向けガス・電力の販売会社設立

中部ガスは 中部電力と共同で法人向け ガス・電力の販売会社を設立



[ロゴマークにはサーラと中部電力のコーポレートカラーを使用]

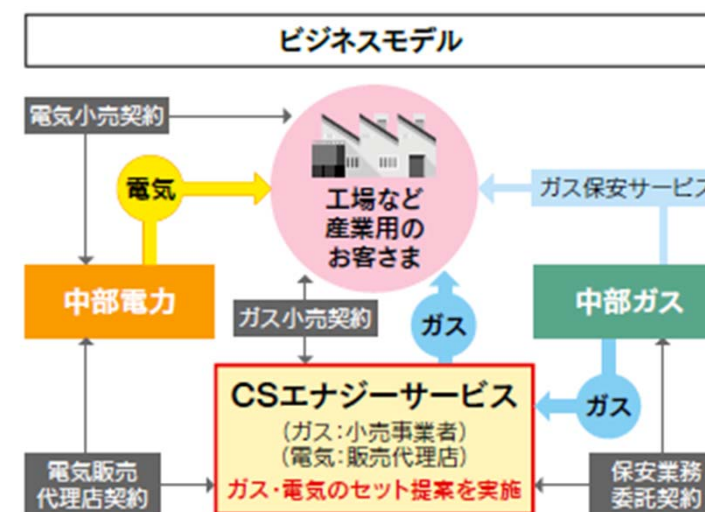
重油やLPガスを使用している工場などの法人のお客さま向けにガスと電気のセット提案を行うことにより、天然ガスへの燃料転換を促進します。（事業エリアにおける潜在需要24万 t のうち、10年以内に半分の12万 t /売上高約100億円規模※を目指します。

※中部ガスの法人向け販売実績より試算）

所在地	愛知県豊橋市白河町100番地 (サーラプラザ豊橋 2 階)
代表者	代表取締役社長 山田 高裕 代表取締役副社長 内田 英明
設立日	2018年10月 1 日
事業内容	ガス、電気等の販売事業
資本金	1.5億円（中部ガス50%：中部電力50%）
事業エリア	愛知県蒲郡市以东から 静岡県大井川以西の14市町



会社設立時の共同記者会見



CSエナジーサービスのビジネスモデル

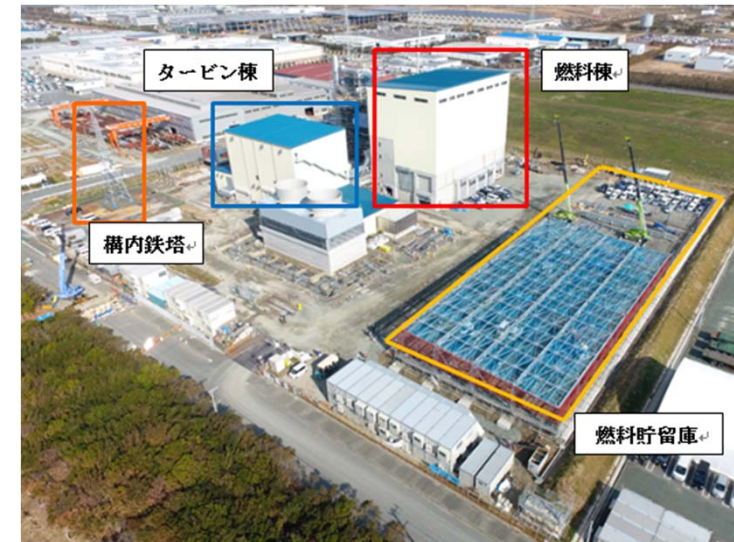
トピックス：「東三河バイオマス発電所」建設工事の進捗状況

サラーeパワーは 愛知県豊橋市臨海部に 木質バイオマス発電所を建設中

●東三河バイオマス発電所

発電所の建設工事は順調に進捗し、2019年7月の本稼動を目指しています。

発電所名	東三河バイオマス発電所
建設地	愛知県豊橋市新西浜町2-10
建設スケジュール	2019年4月完成・7月本稼動予定
発電規模	22,100 K W
年間発電量	約1億5,000万 K W h (一般家庭約4万世帯分に相当)
燃料	主燃料：輸入材 (主にPKS〔パーム椰子殻〕など) 副燃料：東三河、遠州などの間伐材等
総事業費	約100億円
売上高(年間/上段) (2019年度/下段)	約40億円/年 約17億円(7月～11月の5ヵ月間)
営業利益(年間/上段) (2019年度/下段)	約6.0億円/年 約2.8億円(7月～11月の5ヵ月間)



12/19上空から撮影

バイオマス発電所の建設を契機として、サラーグループは電力ビジネスを再構築し、さらなる拡張・発展を目指します。

- ✓ 2019年11月の太陽光発電買取期間終了に伴う事業・サービスの組み立て
- ✓ エネファームで発電した電気の買い取り
- ✓ オール電化住宅への営業

トピックス：「アウディ浜松」リニューアルオープン

サーラカーズジャパンは 2019年1月に「アウディ浜松」を リニューアルオープン

●新「アウディ浜松」

新店舗はアウディの最新のCI/CD（CI：コーポレートアイデンティティ、CD：コーポレートデザイン）に準拠した内外装となっており、12台の最新モデルが並ぶ東海エリア最大級のショールームです。

同社では初となるAudi Sport店としてハイエンドモデルのスポーツカー「R8」「RS」モデルの展示・販売を行います。

ラインアップを充実させた新店舗の完成により、これまで以上に幅広いお客さま層にアウディの魅力をお伝えし、地域におけるアウディのシェアアップを目指します。

新車販売計画（2019年度）	270台
店舗売上高（2019年度）	2,230百万円



新「アウディ浜松」外観



新「アウディ浜松」ショールーム

豊橋駅前大通二丁目地区 再開発事業は 2018年12月に 東棟の建設工事に着工

● 豊橋駅前大通二丁目地区再開発ビル（東棟）

サーラグループは豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業に参画しています。同事業は“人”が主役となり、あらゆることにつながりを生み出すまちの拠点をつくることを開発のコンセプトとしています。

2018年12月に既設建築物の解体工事を終了し、マンション、オフィス、図書館等を備える東棟の建設工事に着工しました。

（2021年6月竣工予定）サーラグループは6～24階のマンション129戸の販売を行います。

● 施設事業

東棟の施設全体の基本構想を策定し、まちづくりの軸に「食」をおき、農家や食品メーカー、流通、医療、大学、金融など食にまつわる様々な担い手を巻き込み、地域が魅力的で豊かになるための新しい価値の創造に取り組みます。



東棟完成パース図



挑戦を持続的なものとする機能と仕組みを整えていく。

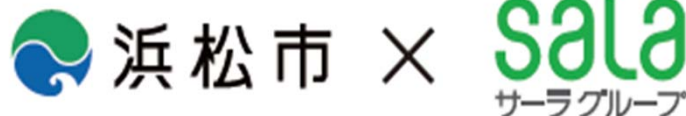
浜松エリアにおけるブランド戦略を強化し 同エリアにおけるシェア拡大を目指しています

●ネーミングライツ（施設命名権）取得

2019年1月に静岡県浜松市公募の「浜北平口スポーツ施設」のネーミングライツを取得し、同市とパートナー契約を結びました。（2019年4月より5年間）

施設の活性化や地域の発展に取り組むとともに、浜松エリアにおけるサーラブランドの浸透を目指しています。

浜北平口スポーツ施設



●ラッピング電車“緑電（みどでん）”運行開始

サーラの電気30,000件突破を記念して、2018年10月より遠州鉄道でラッピング電車の運行を開始しました。

車体にはサーラグループのコーポレートカラーであるグリーンを基調に浜松の街並みやサーラグループの施設が描かれています。



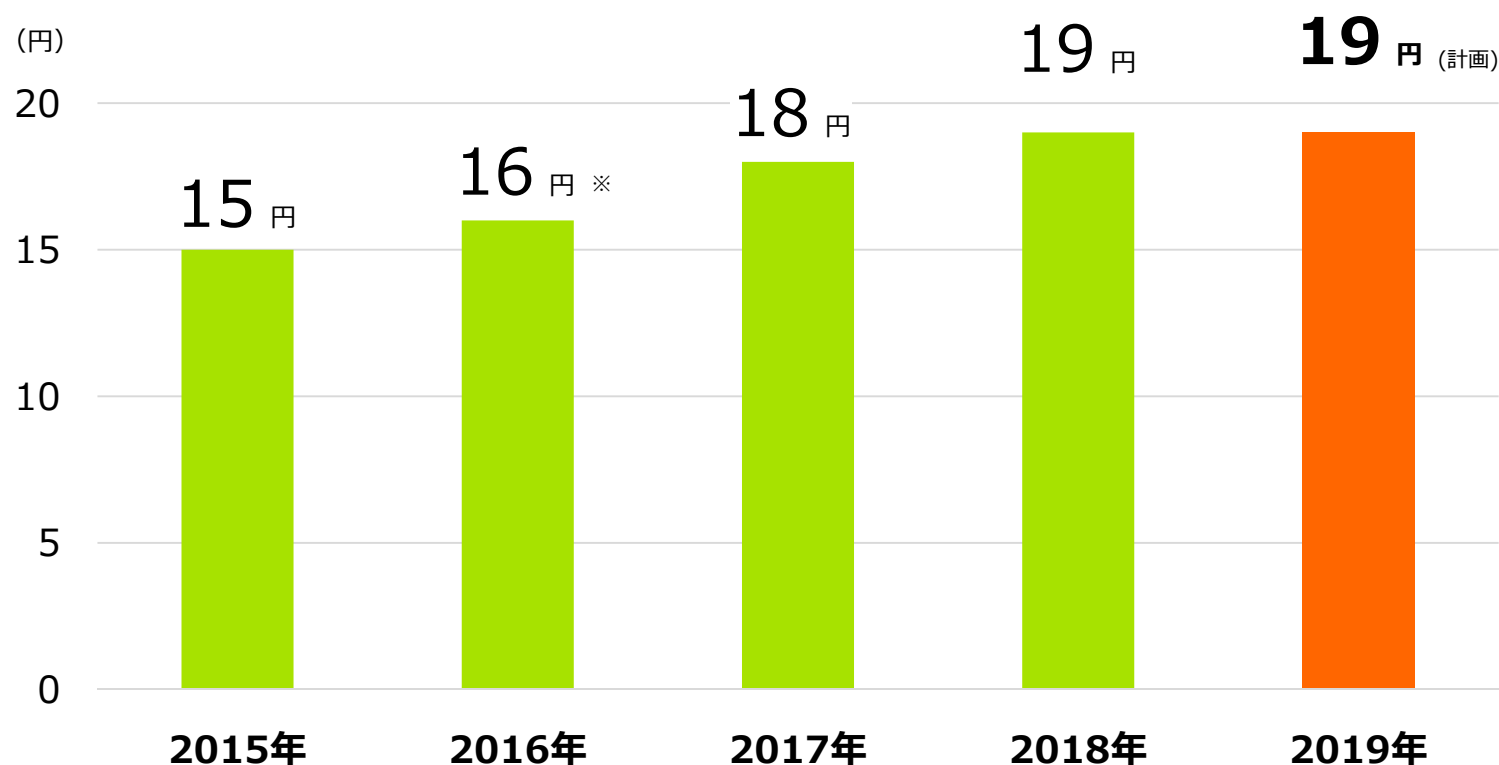
2019年11月期 配当予想

- 配当の基本方針の変更

為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向30%を目途

- 年間配当金19円（中間配当9円、期末配当10円）を見込む

（2018年11月期まで5期連続で増配中）



※ サラグループ再編を記念する記念配当2円を含む

(参考資料)

サーラグループの概要



会社概要及び株式の状況



会社概要

商号	株式会社サーラコーポレーション	
設立	2002年5月1日	
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー	
資本金	80億2,500万円	
証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部	
役員	代表取締役会長 代表取締役社長 代表取締役専務 取締役 取締役 取締役 取締役（社外） 取締役（社外） 監査役（常勤） 監査役（社外） 監査役（社外）	中村捷二 神野吾郎 松井和彦 石原 裕 鳥居 裕 山口信仁 一柳良雄 石黒和義 原田保久 杉井 孝 村松奈緒美
従業員数	3,899名（連結）	

株式の状況

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式総数	66,041,147株 （自己株式8,461株を含む）
1単元の株式数	100株
株主数	11,841名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
サーラコーポレーション従業員持株会	4,038	6.11
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社（信託口）	3,322	5.03
三井住友信託銀行株式会社	2,920	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	2,592	3.92
株式会社静岡銀行	2,180	3.30
ガステックサービス共栄会	2,033	3.07
野村信託銀行株式会社（サーラコーポ レーション従業員持株会専用信託口）	1,960	2.96
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社（信託口4）	1,613	2.44
株式会社三井住友銀行	1,414	2.14
株式会社みずほ銀行	1,304	1.97

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

（2018年11月30日現在）

サーラの沿革

中核 5 社による サブグループ経営

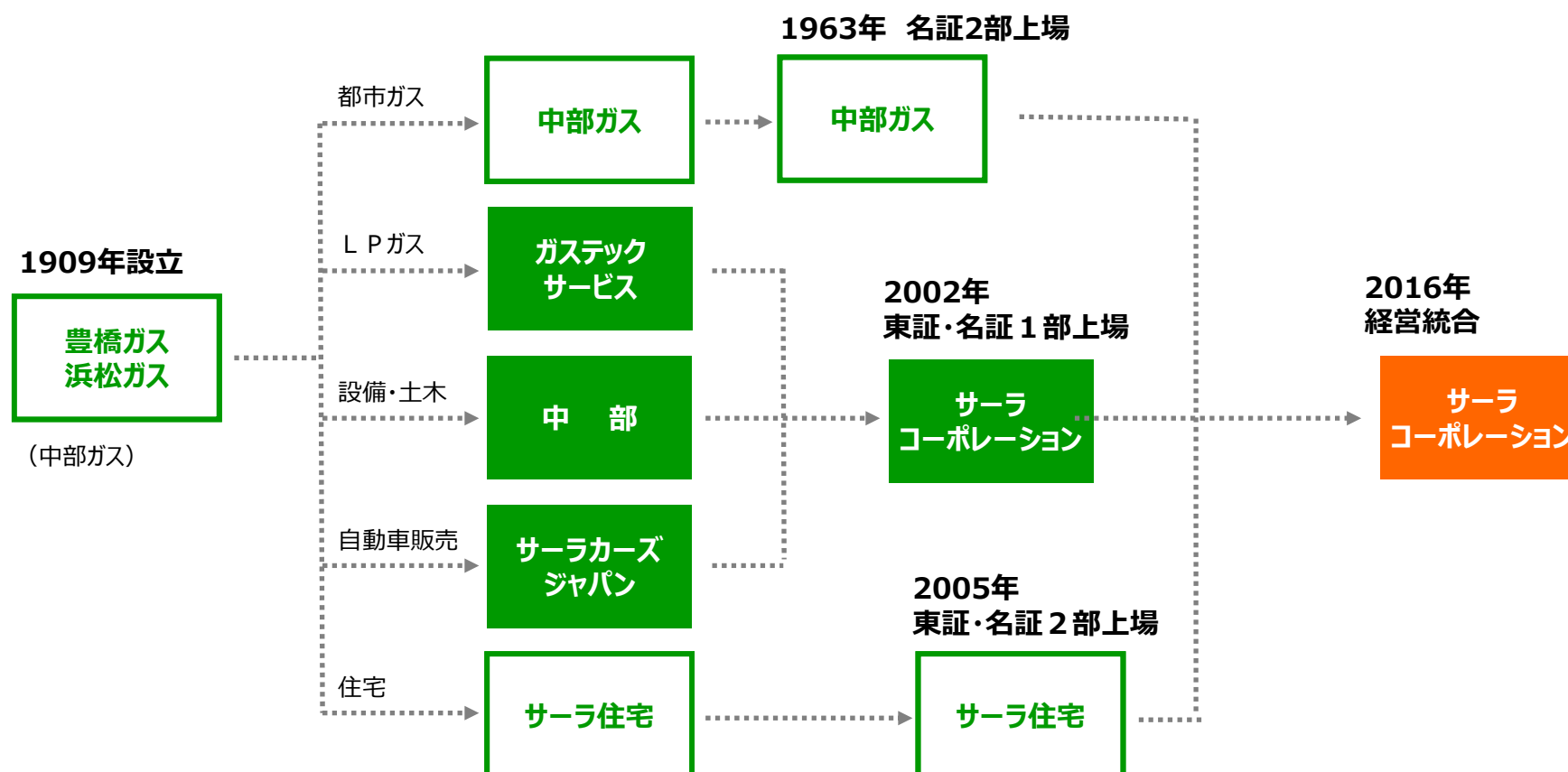
1960年代、総合生活産業への
飛躍をめざして多角化を推進

上場 3 社を軸に サーラグループを形成

サーラの基本理念のもと
グループを結束し
新たな事業の取り組み

2016.7 資本統合により サーラグループを一体化

経営効率をたかめるとともに
地域の暮らしやビジネスを
総合的にサポートする事業展開へ



グループ会社45社（連結子会社37社、非連結子会社7社）

※ 太字は主要子会社
(2018年12月1日現在)

ソーラコーポレーション	エネルギー＆ソリューションズ (エネルギー・生活サービス事業)	中部ガス 、ガスリビング中部、ガスリビング浜松西部、ガスリビング浜松北部、ソーラガス磐田、ソーラeエナジー、ソーラeパワー、 ガステックサービス 、グッドライフソーラ関東、ソーラ物流、リビングソーラ、ソーラの水、三河湾ガスターミナル、日興、神野オイルセンター、中部プロパンスタンド、浜松プロパンスタンド、KANTOH
	エンジニアリング＆メンテナンス (土木・建設・設備事業)	中部 、神野建設、鈴木組、中部技術サービス、テクノシステム、西遠コンクリート工業、トキワ道路、昭和クリーナー、中部ビルサービス、誠和警備保障
	ハウジング (住宅建設・販売事業)	ソーラ住宅 、中部ホームサービス、太陽ハウジング、ソーラハウスサポート、エコホームパネル
	カーライフサポート (輸入車販売事業)	ソーラカーズジャパン
	アニマルヘルスケア (動物用医薬品販売事業)	アスコ 、大和医薬品工業
	プロパティ (不動産関連事業)	中部ガス不動産 、ソーラホテル＆レストランズ、ソーラスポーツ
	その他	ソーラフィナンシャルサービス、ソーラビジネスソリューションズ、ソーラライフスタイルイノベーション、新協技研、エス・アール・ピー

東三河・遠州エリアを中心に、宮城県から山口県まで

21都道府県・**326**カ所に展開

中国地方 **7**カ所

エネルギー & ソリューションズ
アニマルヘルスケア

関西地方 **2**カ所

アニマルヘルスケア

東北地方 **5**カ所

エネルギー & ソリューションズ
エンジニアリング & メンテナンス
アニマルヘルスケア

東海地方 **278**カ所

エネルギー & ソリューションズ
エンジニアリング & メンテナンス
ハウジング
カーライフサポート
アニマルヘルスケア
プロパティ

関東地方 **34**カ所

エネルギー & ソリューションズ
エンジニアリング & メンテナンス
ハウジング
カーライフサポート
アニマルヘルスケア

(2018年12月1日現在)

サーラグループの地域貢献活動

●文化・芸術支援

ギャラリーの運営や地域オーケストラの支援など文化振興に貢献しています。



●教育支援

大学院生への奨学援助のほか、地域の教育・文化活動に助成を行っています。



●スポーツ支援

オフィシャルスポンサーとして、プロスポーツ「ジュビロ磐田」と「三遠ネオフェニックス」を応援しています。

また、スポーツを通じた地域の少年・少女の健全な育成を目的とした大会への特別協賛を実施しています。



(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている数値計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先

株式会社サーラコーポレーション 総務部 総務グループ

TEL : 0532-51-1182 FAX : 0532-51-1154